

通常運転から自立運転に切り換える

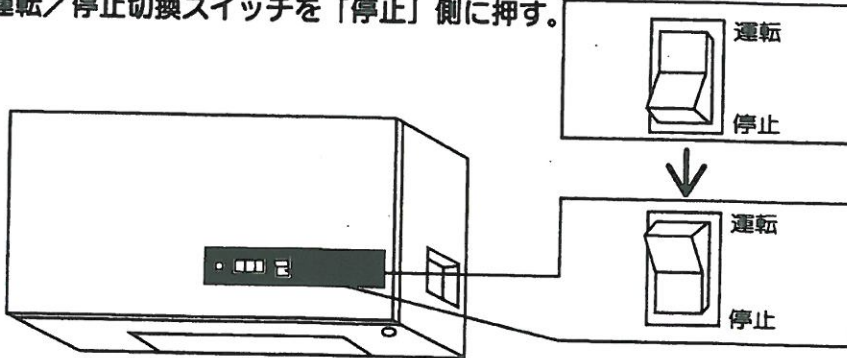


注意

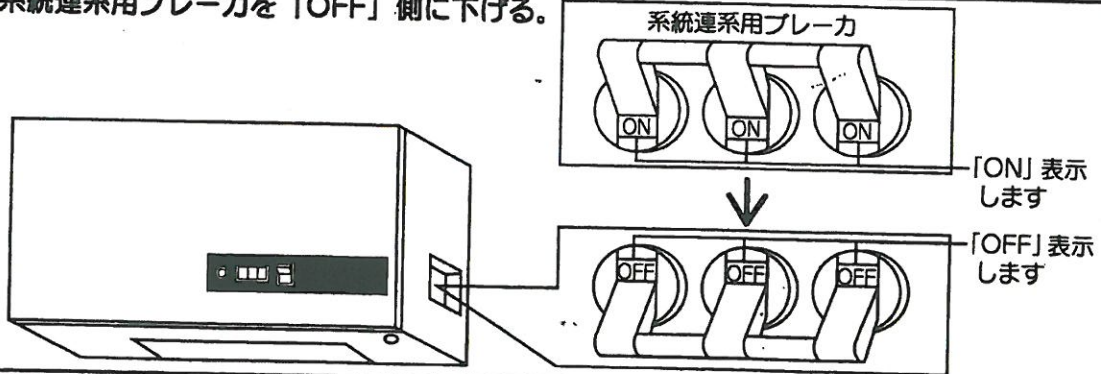
自立運転を行うには、自立運転専用コンセント工事が必要です。
自立運転専用コンセントには、パソコンなど途中で電源が切れると困るような電気製品は接続しないでください。
夜間や、曇などで発電電力が不足しているときは、装置は停止し電気製品の電源が切れるので、パソコンではデータを破壊する恐れがあります。

自立運転とは電力会社の系統が停電時に太陽電池から発電された電力を家庭用の電力に変更し、住宅内に設けた自立運転専用コンセントに送ります。(この電力は住宅用分電盤には送られません。)自立運転専用コンセントは、別工事となります。

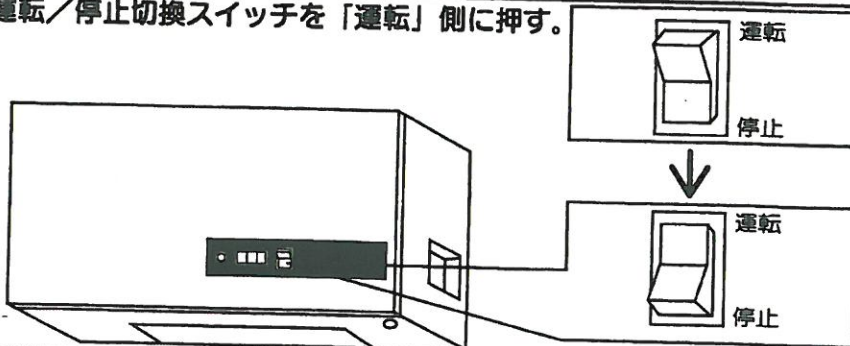
1. 運転/停止切換スイッチを「停止」側に押す。



2. 系統連系用ブレーカを「OFF」側に下げる。



3. 運転/停止切換スイッチを「運転」側に押す。



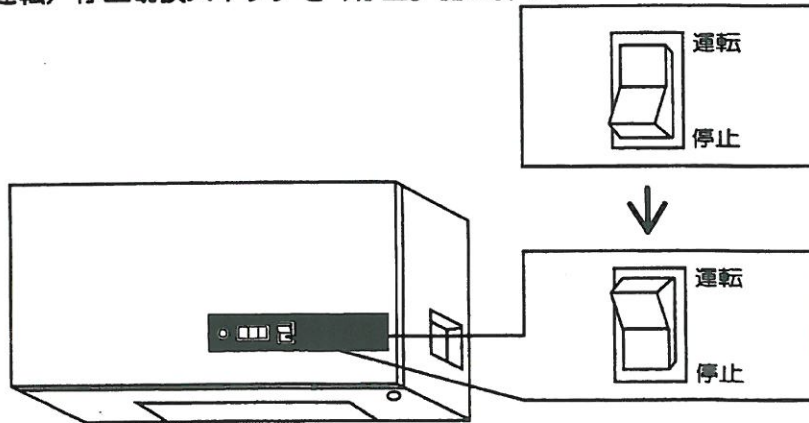
・太陽の日射が弱いときに自立運転を行なうと電力供給のオン/オフを繰り返すことがあります。これは接続した電気製品に供給するだけの発電能力が不足している為であり、故障ではありません。
・夜間に運転/停止切換スイッチを「運転」にした状態で翌日太陽が昇っても運転はしません。このとき、運転/停止切換スイッチを一旦「停止」にして再度「運転」にすると運転を始めます。

4. 使用する電気製品を別工事で取り付配線した自立運転専用コンセントに接続する

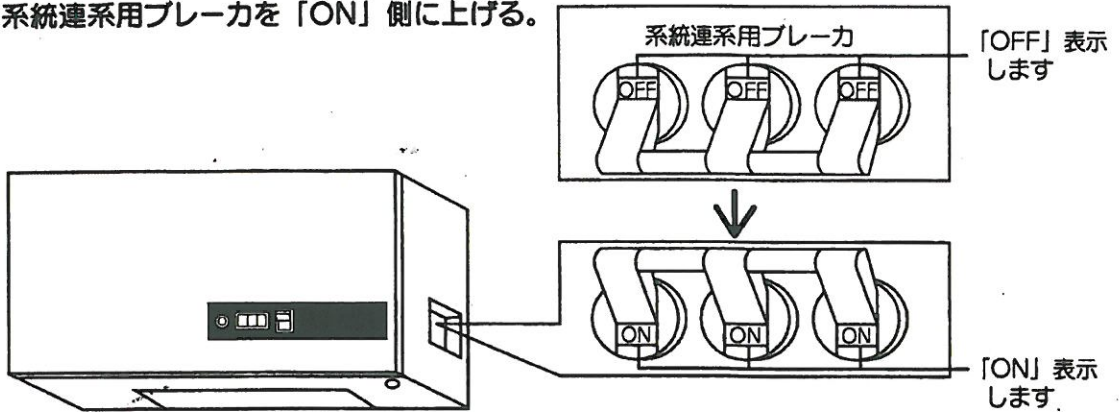
・負荷によっては使用できないものもあります。
・自立運転時の出力電流は最大で、15Aです。出力できる電流は天候などにより変わります。

自立運転から通常運転にもどす

1. 運転/停止切換スイッチを「停止」側に押す。

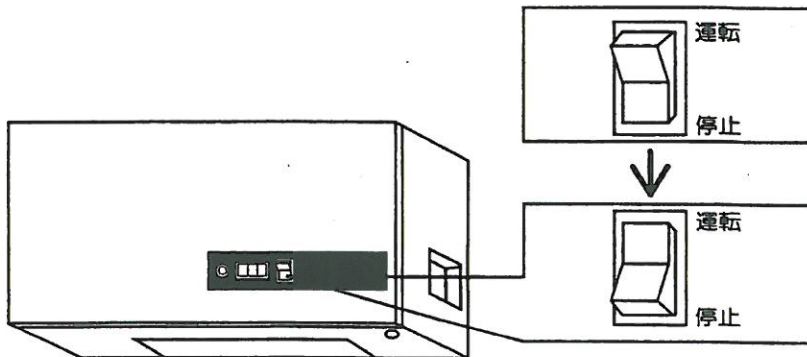


2. 系統連系用ブレーカを「ON」側に上げる。



・系統連系用ブレーカを「ON」にしてから数分間は発電を開始しませんが、異常ではありません。その間、表示部は“E0”を表示します。

3. 運転/停止切換スイッチを「運転」側に押す。

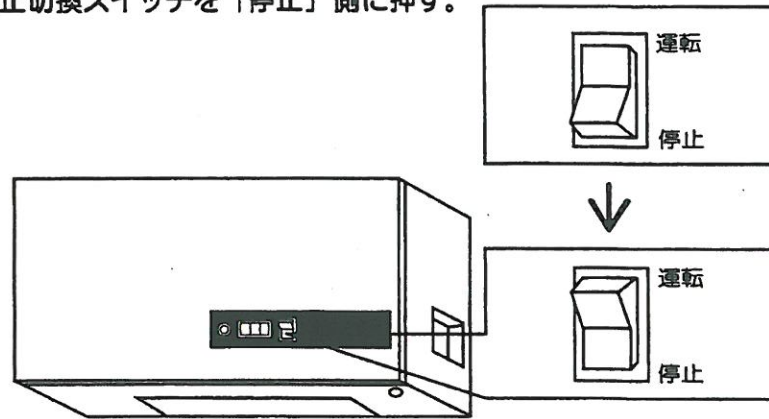


こんな時は (3)

● 自立運転用トリップボタンが突出したら

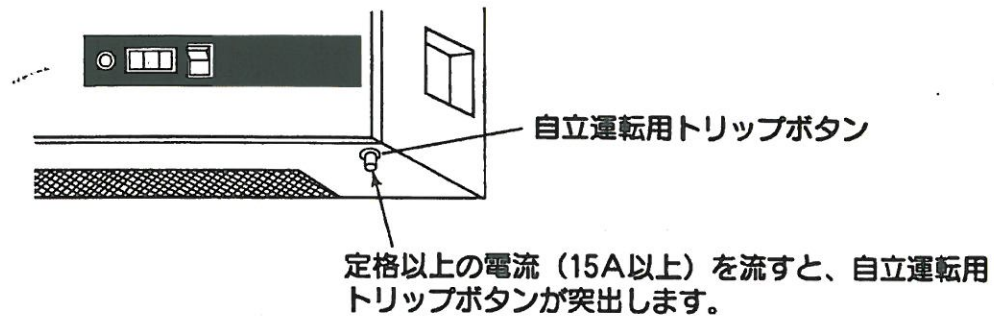
自立運転中に電気の使いすぎや使用中の電気製品の故障により、定格以上の電流（15A以上）を流すと、自立運転用トリップボタンが突出し、自立運転専用コンセントへの給電をストップします。

1. 運転/停止切換スイッチを「停止」側に押す。



2. 負荷を減らす。または故障した電気製品を自立運転専用コンセントから抜く。

3. 突出した自立運転用トリップボタンを押す。



4. 運転/停止切換スイッチを「運転」側に押す。

